

山形県感染症発生動向調査

令和3年第1週(令和3年1月4日~令和3年1月10日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所) TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486 URL http://www.eiken.yamagata.jp/ 2021年1月13日 発行



<定点把握感染症>

<定点把握感染症															:警報レ					ル 累積 (県)
疾患名	全国		」形 県	ı		山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所		
インフルエンザ定点(定場	第53週	第53週	第1週 (45)	増減	第53週	第1週	増減	第53週	第1週	増減	第53週	第1週 (4)	増減	第53週	第1週	増減		第1週	増減	第1~1週
	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		(45)	Ι		(9)	I		(10)			(4)			(9)			(13)		
インフルエンザ	0.01																			0
小児科定点 (定点)	医療機関数)		(29)			(5)			(7)			(3)			(6)			(8)		
RSウイルス感染症	275		1	Δ		1	Δ													1
ハラブトルス心未進	0.09		0.03	۵		0.20	۵													
咽頭結膜熱	455	4	15	Δ		3	Δ		2	Δ					7	Δ	3		Δ	15
A #Y I I I I I I I I I I I I I I I I I I	0.15 1081	0.14	0.52 56		5	0.60 5		8	0.29 20					0.67	1.17 26		5	0.38		
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	0.35		1.93	Δ	1.00	1.00		1.14	2.86	Δ				1.17	4.33	Δ	_	0.63	Δ	56
	4420	81	87		12	22		29	30		1		_		23		9 12			0.5
感染性胃腸炎	1.43	2.79	3.00	Δ	2.40	4.40	Δ	4.14		Δ	0.33		▼	5.00	3.83	•		1.50		87
	324	4	3	∇	1	2	Δ	1		∇				2		∇	1		^	3
7/1进	0.11	0.14	0.10	·	0.20	0.40	4	0.14		•				0.33		*		0.13		
手足口病	120		4	Δ					2	Δ							2		Δ	4
	0.04		0.14						0.29									0.25		
伝染性紅斑	0.01			1																C
	553	5	13		1	4			2		1	1		1	2		2 4			
突発性発しん	0.18	0.17	0.45	Δ	0.20	0.80	Δ		0.29	Δ	0.33	0.33		0.17	0.33	Δ	0.25	0.50		13
ヘルパンギーナ	121	2		∇				1		•				1		∇				C
ハルハンモーノ	0.04	0.07		V				0.14		•				0.17		·				
流行性耳下腺炎	44																			C
眼科定点 (定点	0.01		(0)			(1)			(2)			(1)			(1)			(2)		
	医療機関数)		(8)	Ι		(1)	I		(3)			(1)			(1)			(2)		
急性出血性結膜炎	0.00																			C
`*************************************	61																			
流行性角結膜炎	0.09																			C
基幹定点 (定点	医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	7 0.01																			C
クラミジア肺炎																				C
	14																			
マイコプラズマ肺炎	0.03																			C
細菌性髄膜炎	6 0.01			-																C
	1																			
無菌性髄膜炎	0.00			1			1									1				C
	0.00						1													

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<全数把握感染症>

		報	告	数		
疾 患 名	山巣 世	村山	最上	置賜	庄内	備考
結核		2				
腸管出血性大腸菌 感染症					1	型別:O血清群 不明 VT1。
百日咳	1					※令和2年第51週 追加報告 分。ワクチン接種歴:不明。

<诵信欄>

※新型コロナウイルス感染症情報について

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム の運用開始に伴い、新型コロナウイルス感染症は週報の対象 外となりました。

山形県の新型コロナウイルス感染症に関する 情報は、右記の「新型コロナウイルス感染症に 関連するポータルサイト」をご覧ください。 (QRコードを読みとるかPDFファイル上で クリックしてアクセスしてください。)

※警報・注意報の基準値

疾患名	警 報 し	注 意 報	
大 忠 石	開始	終息	レベル
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数に ついては別紙(グラフページ)をご覧ください。

※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPを ご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	合計
															Ī
インフルエンザ	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~									0
															Ī
小児科定点	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳~	合計
RSウイルス感染症		1													1
咽頭結膜熱		1	8	3	1	1				1					15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			5	1	6	8	6	5	8	3	6	3	2	3	56
感染性胃腸炎	1	3	19	8	5	8	9	4	7	8	4	8	2	1	87
水痘											2	1			3
手足口病			1	1	1			1							4
伝染性紅斑															0
突発性発しん		6	5	2											13
ヘルパンギーナ															0
流行性耳下腺炎															0

< 令和 2年 11月 月報 >

2020年12月23日 発行

疾 患 名		μЯ	! 県	山 形 市保 健 所		村 山保健所		最 上保健所		置 保 (賜建所	賜 庄 内		累積 (県)		
	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月	1~11月			
STD定点 (定	STD定点 (定点医療機関数)		0)	(3)		(1)	(1)		()	(2)		(2)		3)	
性器クラミジア感染症	報告数	14	15	7	9			3	2	1	1	3	3	164		
任品ノフミング念未住	定点当り	1.40	1.50	2.33	3.00			3.00	2.00	0.50	0.50	1.00	1.00	104		
性器ヘルペスウイルス	報告数	7	8		1			1	1	5	5	1	1	71		
感染症	定点当り	0.70	0.80		0.33			1.00	1.00	2.50	2.50	0.33	0.33			
	報告数	1	1		1							1		15		
大王コンプローマ	定点当り	0.10	0.10		0.33							0.33				
淋菌感染症	報告数	2		1								1		26		
州西 常未征	定点当り	0.20		0.33								0.33				
基幹定点 (定)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)					
ペニシリン耐性肺炎球菌	報告数	5	2		1			1	1			4		47		
感染症	定点当り	0.50	0.20		0.50			1.00	1.00			1.33		41		
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	報告数	21	20	5	3	2	2			1	2	13	13	207		
	定点当り	2.10	2.00	2.50	1.50	1.00	1.00			0.50	1.00	4.33	4.33	207		
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数													2		
	定点当り															

<トピックス>

冬場の換気のポイント

季節を問わず、新型コロナウイルス対策には、こまめな換気が 重要です。しかし、冬本番を迎え、寒さと換気に折り合いがつか ないことが多いと思います。室温が下がりすぎないよう、上手に 換気に取り組む必要があります。

一般家庭でも、建物に組み込まれている常時 換気設備や台所・洗面所の換気扇により、室温 を大きく変動させることなく換気を行うことが できます。常時換気設備や換気扇を常時運転し、 最小限の換気量を確保しましょう。

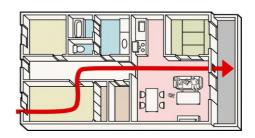
窓開けによる換気を行う場合は、18℃を目安に室温が下がらないように、暖房器具を使用しながら、窓を少しだけ開けて換気してください。短時間に窓を全開にするよりも、一方向の窓を少



しだけ開けて常時換気を確保する方が、 室温変化を抑えられます。この場合でも、 暖房によって室内・室外の温度差が維持 できれば、十分な換気量を得られます。

人がいない部屋の窓を開け、廊下を経由して、少し暖まった状態の新鮮な空気を人のいる部屋に取り入れることも、室温を維持するために有効です。

参考イラスト:人がいない部屋の窓を開け、廊下を経由して、少し暖まった状態の 新鮮な空気を人のいる部屋に取り入れる換気方法(2段階換気)の例



出典:厚生労働省HP 新型コロナウイルスに関するQ&A(一般の方向け)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/dengue_fever_qa_00001.html#Q1-7